

以下は、2013年3月24日の解散総会において報告した、支える会の活動（12年間の活動全体の総括）です。

支援活動記録 （2001年3月25日結成 ～ 2013年3月24日解散）

①本人支援：

1) 面会：

2001.3「支える会」結成から2003.10上告棄却まで、東京拘置所収監中のゴビンダさんに、多くの支援者が交代で毎週3回の面会を行った。

2005.5から支援者1名が、横浜刑務所で無期刑に服するゴビンダさんの身元引受人に認められ、定期的な面会ができるようになった。その後、2006.5から「受刑者処遇法」により一時的に、一般面会による支援者面会が許可されたが、2008.11から再び制限が強化された。以来、身元引受人1名と「支える会」代表1名により、月3～4回ていどの面会で励まし続けてきた。

2) ネパール語の新聞と雑誌の差入れ：

ネパールと日本を仕事で往来している支援者に、ネパール語の新聞と雑誌をカトマンズの知人宅から2～3ヶ月分まとめて持ち帰ってもらい、11年間ずっとゴビンダさんに差入れし続け、ゴビンダさんが「浦島太郎」にならないように心がけた。

3) 裁判資料などの翻訳：

2001年当時、まだ日本語を読めなかったゴビンダさんのために、上告趣意書をネパール語に翻訳した。少しずつ日本語を読めるようになってからは、新聞や雑誌の関連記事などにフリガナを付け、ゴビンダさんが自分の事件や裁判の状況を理解できるように配慮した。

②家族支援：

1) ネパールから家族を度々、招日し(妻ラダさん10回、兄インドラさん3回、義兄マハトさん1回、母チャンドラカラさん1回、娘ミティラさん・エリサさん2回)、本人と家族の絆を保ち続けるよう努めた。

*DVD『ラダ・マイナリ・イン・ジャパン』(ラダさん2001年末～初来日時の記録映像)を自主制作。

*DVD『帰国報告』(2012年6月15日ゴビンダさん帰国に同行したときの記録映像)を自主制作。

2) 医療費と学費の援助：

妻ラダさんの甲状腺腫治療費、娘2人の学費(高等教育2年間)を、一時的に援助し、ゴビンダさんが獄中でも家族の身を心配せずに過ごせるようにした。

③ニュースレター発行:

『ゴビンダ通信』、年4～5回発行(最終号No.54:2013年5月1日付 1100通発送)。

ゴビンダさんの獄中からのメッセージ、裁判や支援活動の近況報告を通して、ゴビンダさんが無実であり、この事件が冤罪であることを広く訴え続けた。

④再審開始要請と署名提出:

2005年3月23日の再審請求から2012年6月7日の開始決定まで、東京高等裁判所第四刑事部に、合計22回の要請を行い、個人5万6485筆、団体642筆の署名を提出した。ゴビンダさんの家族も来日時には要請に同行した。

⑤再審への支援者独自の取り組み:

2006年～「再審チーム」を結成(限定メンバー)。裁判資料検討会や再審弁護団との会合を行った。

2007年～ 事件現場である喜寿荘101号室を1年間、賃借。現場検証などを行った。

* DVD『10年目の現場検証』を自主制作。

⑥国民救援会の協力による街頭宣伝:

2001年末、妻ラダさん初来日時、日本国民救援会に支援要請。2003年から正式支援。宣伝、署名、要請など、冤罪支援活動の全般にわたり、多大な協力を得た。

毎月1回、有楽町マリオン前やお茶の水駅前にて、再審えん罪事件全国連絡会との協賛で定例の街頭宣伝に参加。

⑦処遇改善要請:

法務省矯正局および横浜刑務所当局に対して、外国人であること、再審請求を行うことなどの事情を説明し、主に外部交通や医療についての処遇改善を要請した。

⑧ホームページや出版物による普及:

1)『神様、わたしやってない』(GENJINブックレット)を上告中に制作。現代人文社から出版。その後、英語版も自費出版。

2)『冤罪File』(2008.2創刊)に全面的に取材協力。事件や裁判の記事掲載。

3)ホームページ: <http://www.jca.apc.org/govinda/>

『ゴビンダ通信』バックナンバーなどや活動報告などの他、集会のお知らせや再審請求審の進行状況など、最新の情報を掲載するように努めた。

⑨国際世論への訴え:

2001年4月27～29日、カトマンズで開催された「人種差別撤廃世界会議(WCAR)へ向けてのアジア太平洋準備会議」の「移住労働者に対する人種差別と排外主義ワークショップ」で、蓮見代表が事件の詳細を報告。ゴビンダケースは決議文中に採択された。また地元の人権団体の代表者らに支援を訴えたり主要メディアを集めて記者会見を行ったりした。

その他、海外の団体(Nepal Americas Councilなど)からも、裁判所に公正な審理を求める要請ハガキや署名に積極的な協力を得た。